

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	848	課コード	0703	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 良質な住宅供給の推進 個別事業 市営住宅維持管理点検業務	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	都市部・建築住宅課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.2人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初) 25,321千円 (うち人件費 1,780千円)	(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード 64001	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	住宅に困窮する低所得者などに対し、安全で質の高い市営住宅を供給するため、老朽施設の改修、バリアフリー化の推進などを計画的に行います。また、市営住宅ごとの入居申込み件数を注視しながら、民間住宅の活用を視野に入れた、より広い枠組みの中で効率的かつ柔軟な供給を進めていきます。			事業目的	入居者が快適で安心して暮らせる住環境の整備。				
(3) 事業内容	内容	①入居者に対する窓口業務、書類等の受付及び処理(決定を除く)、システム入力 ②入居者募集に関する事務処理(入居者決定を除く) ③家賃決定を行うための収入申告業務(家賃の決定を除く) ④家賃収納に関する納付書送付、口座振替事務、滞納者への納付指導等 ⑤団地及び集会所や駐車場の点検及び維持管理 ⑥市営住宅土地の賃貸借契約(変更)の締結と支払い ⑦その他市営住宅の維持管理に関すること ⑧小規模改良住宅の維持管理に関すること ただし、①から⑤は政策費の維持管理委託の中で実施			当該年度執行計画	①左記「内容」の①から⑤に関する業務：随時 ②土地賃貸借契約(変更)の締結：4月 賃借料の支払い：4月、12月 ただし、上記①は政策費の維持管理委託の中で実施				
		当該年度活動結果指標	給水設備等の点検、樹木剪定等、土地賃貸借契約の締結件数	単位	件	想定値	30	実績値		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	入居者が快適で、安心して暮らせる住環境の整備に努める。			直接	給水設備等点検、樹木剪定等、土地賃貸借契約の締結件数		件	30	30	
3年後	同上			直接	同上		件	0	30	
最終(概ね5年後)	同上			直接	同上		件	0	30	
(7) 事業実施上の課題と対応	市営住宅維持管理点検業務のほとんどを委託することから、官民連携を充分図り、事務分担に基づいた事務の執行をしなければならない。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		消費品費	156	消費品費	139	消費品費	139	消費品費	139	
		光熱水費	25	光熱水費	25	光熱水費	25	光熱水費	25	
		その他保険料(敷地内、児童遊園)	185	その他保険料(敷地内、児童遊園)	171	その他保険料(敷地内、児童遊園)	171	その他保険料(敷地内、児童遊園)	171	
草刈委託料	341	草刈委託料	492	草刈委託料	499	草刈委託料	499			
樹木管理委託料	695	樹木管理委託料	701	樹木管理委託料	720	樹木管理委託料	720			
児童遊園点検委託料	0	児童遊園点検委託料	0	児童遊園点検委託料	0	児童遊園点検委託料	0			
ハウスクリーニング委託料	492	ハウスクリーニング委託料	492	ハウスクリーニング委託料	541	ハウスクリーニング委託料	541			
土地賃借料	11,454	土地賃借料	11,500	土地賃借料	11,500	土地賃借料	11,500			
電波障害防除共架料	51	電波障害防除共架料	51	電波障害防除共架料	51	電波障害防除共架料	51			
原材料費(公園砂代)	0	原材料費(公園砂代)	29	原材料費(公園砂代)	0	原材料費(公園砂代)	29			
特殊建築物定期調査(設備)	0	*市営住宅維持管理委託料	9,941	*市営住宅維持管理委託料	9,941	*市営住宅維持管理委託料	9,941			
予算(済)額	合計		13,399	合計		23,541	合計		23,587	
国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
一般財源		△238			0			0	0	
その他の財源	□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他	13,637	□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他	23,541	□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他	23,587	□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他	23,616		
換算人数(人)		0.45			0.2			0.2		
正職員人件費		4,095			1,780			1,780		
嘱託職員報酬額		0			0			0		
臨時職員賃金額		0			0			0		
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		17,494			25,321			25,396		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		583.13千円/件			844.03千円/件					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	入居者が安全で快適に暮らすため、市営住宅施設等の定期点検、樹木剪定等の維持管理は必要な事業である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容> 維持管理業務の一部を除き民間に委託した		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	30	30	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 ■④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
△44.74									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.12	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
	件		10万円						

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント				改善案及び展開方向				

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	850	課コード	0703	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	----	----	----

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 良質な住宅供給の推進	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	都市部・建築住宅課					
	③事業主体	個別事業 市営住宅の維持補修	④対象地区		○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐		■全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	6人 (換算人数)		0.55人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	89,834千円		当該(開始)年度	(当初)	94,329千円 (うち人件費 4,895千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	64001	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	住宅に困窮する低所得者などに対し、安全で質の高い市営住宅を供給するため、老朽施設の改修、バリアフリー化の推進などを計画的に行います。また、市営住宅ごとの入居申込み件数を注視しながら、民間住宅の活用を視野に入れた、より広い枠組みの中で効率的かつ柔軟な供給を進めていきます。			事業目的	入居者が快適で安心して暮らせる施設の整備。							
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・設置後10年以上を経過し、要交換とされた浴槽ガス風呂釜の交換工事他の設備改修工事。 ・退去に伴う室内修繕。 ・施設の老朽化等に伴う修繕。 ・老朽化した市営住宅遊具施設の撤去工事 ・小規模改良住宅の修繕及び設備工事 ・市営住宅大規模改修工事 (根古屋団地3・4号棟) ・市営住宅大規模改修工事監理 (根古屋団地3・4号棟) ・市営住宅大規模改修工事設計 (小暮団地1・2・3号棟) ・市営住宅大規模改修工事設計 (小暮団地1・2・3号棟) 			当該年度執行計画	①老朽化した風呂釜交換工事他の設備改修工事 : 随時 ②退去に伴う室内修繕 : 随時 ③施設の老朽化等に伴う修繕 : 随時 設備改修工事、修繕等に係る事務は民間に委託する							
		当該年度活動結果指標	老朽化した風呂釜交換工事及び退去に伴う室内修繕戸数	単位	戸	想定値	24		実績値				
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該(開始)年度	入居者が快適で、安心して暮らせる施設の整備に努める。			直接	根古屋団地3・4号棟大規模改修工事、小暮団地1・2・3号棟工事設計業務の実施率		%	0	100				
3年後	同上			直接	同上		%	0	70				
最終(概ね5年後)	同上			直接	同上		%	0	70				
(7) 事業実施上の課題と対応	設備工事・修繕工事に係る事務は平成28年度から委託になることから、官民連携を充分に図り、事務分担に基づき業務を遂行していかねばならない			代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
		市営住宅設備工事費	2,311	市営住宅設備工事費	2,311	市営住宅設備工事費	2,311	市営住宅設備工事費	2,311				
		施設修繕料	5,800	施設修繕料	6,800	施設修繕料	6,800	施設修繕料	6,800				
		* 根古屋団地1・2号改修工事	75,650	* 根古屋団地3・4号棟・集会場改修工事	70,000	* 小暮団地1・2・3号棟改修工事	83,754	* 小暮団地4・5号棟・集会場改修工事	113,107				
* 根古屋団地1・2号改修工事監理委託料	3,500	* 根古屋団地3・4号・集会場改修工事監	3,604	* 小暮団地1・2・3号棟改修工事監理	3,279	* 小暮団地4・5号棟・集会場工事監理	4,071						
* 根古屋団地3・4号棟改修工事設計	2,600	* 小暮団地1・2・3号棟改修工事設計	5,936	* 小暮団地4・5号棟・集会場改修工事設	4,482	* 北原団地改修工事設計	4,000						
* 小暮団地雨水貯留浸透施設調査委託	1,135	* 市営住宅遊具撤去工事	783	* 小暮団地雨水貯留浸透施設設置工事	27,000								
予算(済)額	合計		90,996	合計		89,434	合計		127,626	合計	130,289		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	50%	38,493	補助率	50%	33,848	補助率	50%	52,255	補助率	50%	51,162
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	100%	38,200	充当率	100%	44,200	充当率	100%	68,200	充当率	100%	66,800
	一般財源			783			11,386			7,171			12,327
その他の財源	□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他		13,520	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.75			0.55			0.55			0.55	
	正職員人件費		6,825			4,895			4,895			4,895	
	嘱託職員報酬額		0			0			0			0	
	臨時職員賃金額		0			0			0			0	
事業費(予算(済)額+正職員人件費)			97,821			94,329			132,521			135,184	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			4,075.88千円/戸			3,930.38千円/戸							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	事前評価			事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討	
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者が、安全で快適に暮らすため、風呂釜の交換、老朽施設の修繕等は必要な事業である。 ・大雨の際に団地内の駐車場が深い水たまりになってしまい、入居者もその影響で生活や安全面において支障をきたしており、早急な改善等の対策が必要である。 			<ul style="list-style-type: none"> ○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった 				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 			<ul style="list-style-type: none"> □①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 				○要 ○不要	
	<ul style="list-style-type: none"> ○②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 			<ul style="list-style-type: none"> 実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容) 				○要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容				参加・協働の程度・内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 			<ul style="list-style-type: none"> ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 				○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点			実施した具体的な内容				環境への配慮	
	<ul style="list-style-type: none"> □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 			<ul style="list-style-type: none"> ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった 				○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率 (%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	0	100	<ul style="list-style-type: none"> ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である 		実績値 (f) (%)	(f/b) × 100		○要 ○不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	<ul style="list-style-type: none"> □①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 ■④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100		○要 ○不要	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.11		<ul style="list-style-type: none"> ●①単年度の指標：目標値 × 費用単位 / 事業費 ○②複数年度の指標：(目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費 		実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100		○要 ○不要	

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (1838), 課コード (0703), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 27, 28, 29, and 30.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), and 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 目標達成.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for 評価, 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), and 改善案及び展開方向.